

第21回ボウリング大会を開催 (18チーム72名参加)



東京清掃労働組合
千代田区飯田橋3-9-3
TEL (3237) 9995
1部20円

編集責任
企画・総務局
田口 康乗

わが組合の綱領

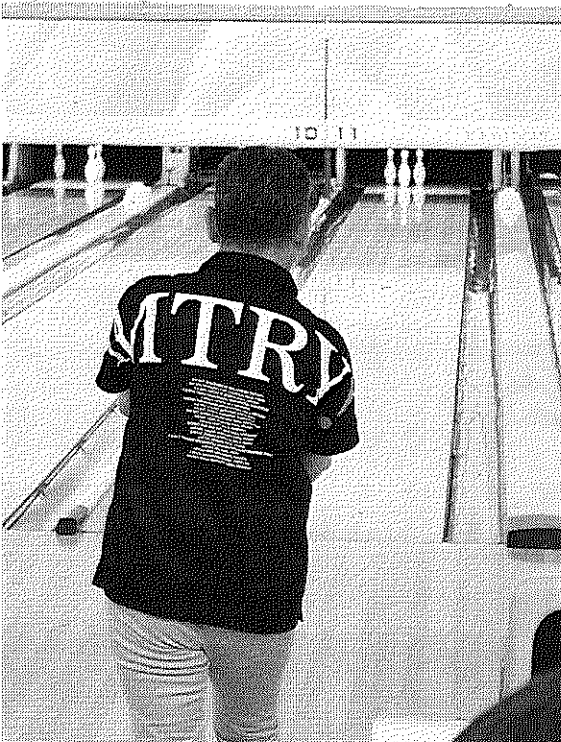
- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。



優勝した第二地連Aチーム



笑顔の中でも真剣勝負！



狙いは一点！スベアを目指す！！

個人戦

順位	氏名	支部	総得点
1	工藤 竜也	文京	427
2	萩原 利紀	豊島	351
3	菊池 順一	中野	347
4	石田 憲一郎	足立	334
5	宮城 仁司	文京	331
6	阿出川 功	足立	324
7	結城 貴行	板橋西	319
8	門間 功樹	中野	315
9	野一色 達也	文京	315
10	米脇 亨	中野	313

チーム戦

順位	氏名	トータル
1	第二地連Aチーム	338.8
2	第四地連Bチーム	301.8
3	第五地連Aチーム	296.3
4	第五地連Cチーム	274.3
5	第四地連Cチーム	272.8



梁中央執行委員長から記念品を受けとる個人戦優勝の工藤さん

6月30日東京ドームボウリングセンターにおいて、第21回ボウリング大会が開催されました。青年部・退選を経て選出された18チームを制したのは、2ゲームの

「チーム戦」第二地連Aチームが優勝 「個人戦」工藤竜也さんが堂々一位

合計が驚異の427点を叩きだした文京支部の工藤竜也さんでした。チーム戦は、個人優勝の工藤さんを有する第二地連Aチームが優勝。続いて第四地連Bチームが準優勝、続いて第五地連Aチームが三位を獲得しました。ゲーム終了後、場所をSKホールに移して懇親会と表彰式を行いました。地連の垣根をこえて親睦の輪を広げることができました。

自治労第7回 現業組織集會に参加 現業労働者の組織強化に向けて 考えよう

自治労は7月21日(土)から23日(月)にかけて、青森市リンクステーション青森を中心に第7回現業組織集會を開催し、全国からは47都道府県本部724名の参加があり、わが組合からは自治労都本部役員を含め10名で参加してきました。1日目には、冒頭に主催者を代表して吉田現評議長(大阪)の挨拶を受け、続いて各来賓の皆様からも激励の挨拶を頂きました。小迫現業局長の基調提起を受け、各職場・各部会から課題提起を受けたのち、「官製ワーキングプアを許さない」と題してパネルディスカッションを実施し、全体討論をしてきました。2日目は、課題別に6つの分科会が設定されましたので、わが組合からの参加者もそれぞれ分担して入り、講義やブレインストーミングなどを通しながら参加者同

士で議論をしてきました。3日目には、「わたしの被爆体験」として青森県原爆被害者の会の田中副会長、「核兵器条約を活かすために」としてNGOピースボート共同代表の川崎さんが登壇し、滅多に聴くことができない貴重な講演に、会場も一体となって聴き入っていました。

今、現業組織集會で学んだことを活かしながら組織強化に繋げていけるよう、わが組合でも積極的に議論を行い、今後の取組みに繋げて行かなければならないと考えさせられる現業組織集會でした。

(渡辺 歩)

第7回現業組織集會 2018.7.21~23



▲集會には47都道府県本部724名が参加した

自治労青年女性中央大交流集會に参加

東京清掃青年部

地方自治確立にむけ、産別闘争を組織しよう！

第21回自治労青年女性中央大交流集會が7月13日、山梨県山中湖村で開催され、全国から40県本部518単組1479名が参加し、東京清掃からは本部青年部5名含む12支部15名の合計20名で参加してきました。

初日の全体集會では、川本実行委員長をはじめ来賓の挨拶を受けたあと、佐藤中央大交流集會が7月13日、山梨県山中湖村で開催され、全国から40県本部518単組1479名が参加し、東京清掃からは本部青年部5名含む12支部15名の合計20名で参加してきました。

2日目の早朝には北富士演習場へ実際に足を運び、反戦集會に参加してきました。100名以上の若い仲間が結集し、労働組合が平和運動を取組む必要性について全体で確認してきました。次に集會のメインである「職種別反合理化分會」

3日目は分會報告のあけ、学習と交流の大切さや、時間外労働や不払い賃金の職場実態を基に、水道や社保、土木部門から闘う報告を受けました。沖繩から、一向に減らない米兵による凶悪事件や高江ヘリパッド建設の再開などが報告され、続いて東京と宮城、藤山青年部長の団結がんばろう

3日目は分會報告のあけ、学習と交流の大切さや、時間外労働や不払い賃金の職場実態を基に、水道や社保、土木部門から闘う報告を受けました。沖繩から、一向に減らない米兵による凶悪事件や高江ヘリパッド建設の再開などが報告され、続いて東京と宮城、藤山青年部長の団結がんばろう



▲東京清掃青年部からは20名が参加



▲熱く語る高木青年部長(品川支部)



6月24日(日)東京清掃 現地調査を開催しました。主催で「狭山差別事件糾弾 今年は染中央執行委員長を

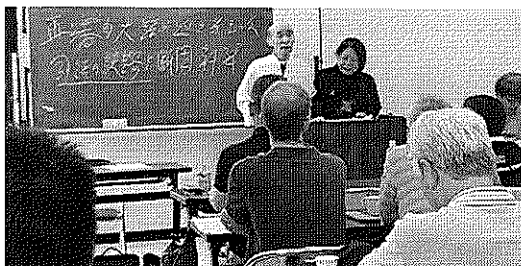
第3次再審闘争は大詰め

2018年度 狭山差別事件糾弾現地調査

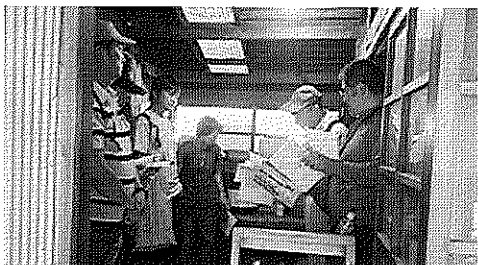
東京清掃主催

はじめとした多くの三役・常任が参加したことからわかるように、現在、第3次再審闘争は大詰めを迎えています。三者協議が開かれ証拠開示が進展し、新証拠が積み重ねられているのが最大の山場です。

1月に開かれた第35回三者協議では、弁護士から石川さんの有罪の有力な証拠とされた脅迫状の筆跡鑑定



▲石川にかけられた見えない手錠を外そう！



▲鴨居を丹念に調査する参加者たち

この交流会を図るため、引き続き上部団体に対して清掃職場からの参加を促す要請をしなければなりません。参加された東京清掃青年部のみならず、暑い中3日間お疲れ様でした。(東京清掃青年部長 高木 陽介)

映画『獄友』を観た。

狭山事件の石川さんを始めとした「冤罪」の当事者達のドキュメンタリーである。狭山事件については、我々東京清掃も現地調査等を通じ支援を重ねている。同じ金聖雄監督の『SAYAMA』みえない手錠をはずすまで』にも詳しく描かれているのでよく知っている気がしていたが、

「布川事件」の桜井さんと杉山さん、「足利事件」の菅家さん、「袴田事件」の袴田さんらと石川さんが親交あったのは意外だった。そして、とにかくこの方々が明るい！獄中で知り合った友だちだから「獄友」。このネーミングからして、冤罪に打ち沈む恨みつらみとは無縁だ。無論、その境地に行き着くまでは死ぬほど悩んだりもしただろう。しかし、それを微塵も感じさせないのが素晴らしい。鑑賞後には、これが冤罪ドキュメンタリーだったとは思えないほど爽やかな気分になった。もちろん不当な判決には怒りを覚える。しかし、冤罪の身同士のここにしかない友情は感動的であるので、ぜひ皆さんも実際に映画をご覧いただきたい。(台東区担当中央執行委員 鈴木 信生)